

山口大学医学部

# 霜仁会会報



第304号

令和6年4月発行

発行人 福田進太郎

霜仁会事務局 TEL:0836-22-2029

FAX:0836-31-7586

E-mail:jimu@soujinkai.jp

HP:http://soujinkai.jp/

印刷所 瞬報社オフリン印刷(株)

## 医学系研究科長・

## 医学部長就任のご挨拶

山口大学大学院医学系研究科長  
山口大学医学部長



田邊 剛

パンデミックなどの緊急事態に柔軟に対応できる体制を構築し、世界に通じる研究成果を挙げるよう、全力を尽くして参ります。

霜仁会の皆様には日頃から大変お世話になり、心より感謝申し上げます。この度、山口大学医学部長、医学系研究科長、医学科長を拝命いたしました。この場をお借りしまして謹んでご挨拶申し上げます。

山口大学医学部は、昭和19年創立の県立医学専門学校から始まり、昭和24年に県立医科大学となり、昭和39年に国立大学に移管され、めざましい発展を遂げて現在に至ります。その輝かしい歴史の流れをくみ、明日の山口大学ビジョン2030の目標である「知の創造としなやかな人材の育成により地域・世界に貢献する山口大学」の達成のため、急激に変化する社会をリードする人材を育成し、

私は昭和61年の山大卒業で、当時梶井教授の小児科に入局し、大学院は中澤教授の第二生化学に所属しました。その後、遺伝子治療を専門とする東京大学医科歯科研究所病態薬理に移り、ミシガン大学、産業技術総合研究所、島根大学を経て、平成24年度から山口大学公衆衛生学・予防医学講座を担当しています。これまでどこに移りましても霜仁会の先生方に温かく迎えていただき、霜仁会のありがたさを身に染みて感じていきます。

現在の医学部の課題として、DX化した教育や研究及び診療システムの構築、アフターコロナ時代での国際化の推進、それらの取り組みによる山口県への卒業生の定着率増加、大学院への進学率上昇が挙げられます。DX化については、国立大学医学部で初のAI専門講座システムバイオインフォマティクス講座の設立、またAIシステム医学医療研究教育センターの設置など、先導的役割を果たしてきました。また文科省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」において応用基礎レベルの認定を受けています。国際化では、自己開発コースで約100名の学生を海外の一流大学に派遣してきました。現在ミシガン大やベルン大などの連携重点大学への派遣を進めています。また令和5年度から山口東京理科大学と「医薬学生共同多職種連携交流会」を始めました。これを山大がほとんどの学部機能を持つ大学に発展する機会と捉え、連合大学院の設立から共同研究の推進へとつなげます。

集」、「再生医療」研究に加え、パンデミック対策や腸内細菌叢と疾患の関連解明を目指す「微生物感染症研究センター」や、認知症治療法開発やフィールド研究を統合した「神経疾患研究センター」の設立などを推進します。さらに文科省や厚労省に定期的に研究成果をアピールし、山大的テーマによる国の事業の創出を目指します。また厚労省やAMEDなどへの人材派遣を継続し、大型予算の企画段階からの情報を得ることにより、獲得に結びつけます。

現在、地方大学の置かれた状況はかつて無いほど厳しくなっています。山大は地域の教育・産業・地方創生・文化の中心になる使命があります。そのためには全教員による一致団結した取り組みだけで無く、霜仁会の先生方のご支援が欠かせません。今後とも指導、ご鞭撻を賜り、また一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

\* 2024年 \*

## 霜仁会総会のお知らせ

日時：2024年5月12日（日）

総会 13時30分より

場所：国際ホテル宇部 本館3階

山口県宇部市島1-7-1

TEL (0836) 32-2323

※例年と会場が違いますのでお気をつけ下さい。

就任挨拶

山口大学医学部保健学科長  
就任のご挨拶



山口大学医学部保健学科長 山本 健

部の英語雑誌MSI (Medical Science & Innovation) の

編集長をつとめておりますが、篠田前教授と美津島教授には運営において大変お世話になっております。皆様のおかげで8年間勤めてま

このたび、山口大学医学部保健学科長(大学院医学系研究科保健学専攻長・副医学部長)に就任させていただきます。ただくこととなりました、山本健と申します。田邊医学部長のもと、医学部医学科とともに保健学科のさらなる発展に尽力する所存です。

私は2016年4月に第二内科の准教授から保健学科の教授に着任し、8年が経ちました。この間多くの医学科の先生方に支えられてまいりました。研究面では、第二内科の佐野教授、

矢野前教授、第一内科の高見教授、第三内科の太田教授、薬理学の朝霧教授、微生物学の坂本教授をはじめ、多くの先生方に助けていただいています。また、医学

以上に増えるよう、教員の予算獲得力の向上と論文としての業績を残すことを重視していくつもりです。そして何より教官が教育、研究に打ち込める環境を整え、若く優秀な先生方に長くとどまっていただける保健学科を目指したいと思っております。

私自身もあいかかわらず研究に情熱を燃やしており、基礎研究から臨床研究まで、今後も霜仁会の先生方と共に研究を進めていけたらと考えています。面白いお話がございましたら、どうぞお気軽にお声がけください。

霜仁会の先生方におかれましては、今後とも今度以上にご指導賜りますようお願い申し上げます。



理事會 報告

第8回理事會

令和5年12月15日(金)  
19時より霜仁会医学交流会館3階会議室において、19名の参加のもと開催された。

【報告事項】  
1. 11月17日(金)  
霜仁会賞運営委員会 (山本)

【審議事項】  
1. 令和6年度霜仁会総会の開始時間について、総会は13時30分から開催することが了承された。(藤村)

第9回理事會

令和6年1月19日(金)  
19時より国際ホテル宇部2階クリスタルにおいて、22名の参加のもと開催された。

【報告事項】  
1. 1月9日(火)  
白衣着衣式 (福田)

2. 1月13日(土)  
兵庫支部会 (福田、矢賀)

3. 1月16日(火)  
検査センター運営委員会 (河野)

【審議事項】  
1. 新たに制定及び一部改正した規程等について、

審議した。(白澤)  
2. 選挙管理委員会委員選出について、承認した。(白澤)

3. 生涯メンバーングリスト利用に関する申し合わせについて、承認した。(福田)

4. 沖村貴之先生の2号会員入会が承認された。(白澤)

5. 江里健輔先生及び柏木崇先生の年会費免除が承認された。(白澤)

6. 能登半島地震災害への義援金について、30万円の寄附が了承された。(福田)

2024年 霜仁会年会費  
自動引落のお知らせ

年会費: 10,000円

自動引落予定日: 2024年5月27日

自動引落のお申込みは霜仁会事務局までご連絡下さい。(0836-22-2029)

どうぞよろしくお願ひいたします。

### 退任挨拶

## 医学系研究科長・医学部長

### 退任のご挨拶（27年を振り返って）

山口大学大学院医学系研究科神経解剖学講座



教授 篠田 晃

医学系研究科長・医学部長2期が満了し、27年に亘る教授職も終える時が来ました。振り返ると色々ありました。1997年赴任早々、医学教育改革の嵐の最中、12月30・31日に教授全員の合宿FDがありました。以来、自己開発コース、学士編入学導入、ユニット制新カリキュラム、CBT・OSCE対応、新々カリキュラムの再編に主導的に関わって来ました。何れも山口大学独自のものを実施し、特にオンライン授業毎評価は2003年に朝日新聞に掲載されました。2001年に始まったホルマリンと化学物質過敏症関連の辛い係争は、勝訴とは言え、最高裁まで8年続く消耗戦でした。ただ怪我の功名、独自に開発した局所吸排型解

Festival、として復活開催しました。直近では山口東京理科大薬学部と医療系多職種連携教育を締結しました。研究科再構築は最大課題で、研究推進、研究者育成・倫理、学術発信・産学連携部門を組織化し研究強化を図っています。FOCS Projectでは有能な若手研究者を発掘し、企業や市や県、大学本部との産官学連携が既に始まっており、山口ブリチンもリメイクし、国際雑誌『Medical Science & Innovation』を発刊してこま

また実践研究参加と海外留学を支援するSMLACと大学院先取りSCEA/AMRAを設置し、研究心と国際性を備えた学術医の育成を掲げ、研究医枠2名を獲得しました。外科教育強化策では2年生に早期外科実習を開講し、御遺体を活用したリカレント外科研修CCSTを開設し、重点診療科枠2名を獲得しました。また2017年、連盟理事長として半世紀ぶりに山口で19,000人参加の西医体を開催できました。2020年には蔓延する新型コロナウイルス感染症との悪戦苦闘が始まり、Covid19を編成して学生・教務対応を行い凌いできました。その後コロナ禍で中断した医学祭、ホームカミングデー、山口医学会を融合し『Home-Coming YUMIE

### 退任挨拶

## 退任のご挨拶

山口大学大学院医学系研究科

耳鼻咽喉科学講座



教授 山下 裕司

令和6年3月末日をもって定年退職いたしました。振り返ってみますと、昭和53年4月に山口大学医学部に入學以来、学生・大学院生・教官を通じて、46年間の長きにわたって山口大学医学部にお世話になってきました。その間、様々なことを経験させていただきました。心から感謝しております。特に、平成7年には第25回霜仁会学術振興賞藤生賞を受賞させていただき、大きな自信になったことは忘れられません。

山口大学医学部を卒業と同時に、大学院に入學いたしました。その当時は宇宙時代の幕開けで、宇宙医学がもてはやされています。重力を感じずる前庭器

が注目された関係で、内耳発生に関する研究をスタートさせました。その後、カロリンスカ研究所では胎児を用いた内耳発生研究、ワシントン大学ではマウス前庭器の再生研究と、一貫して内耳研究を継続することができました。これらの業績を評価されて、平成11年8月に40歳という若輩の私を教授に指名していただきました。なんとか教授職を務めさせていただき、退官の日を迎えることができました。山口大学医学部の関係者や霜仁会の先生に、心からの感謝を申し上げます。

教授就任後は、「研究マインドを持つ専門医の育成」と「独創性のある内耳基礎研究の継続」を医局の目標として、耳鼻咽喉科学講座を運営させていただきました。24年8か月の教授職の間には、様々なことがありましたが、なんとかこの目標だけは達成できたと思っております。研修医制度の改革による入局者の減少に苦しめられましたが、一人一人の医局員を大事に育成することにより、最近では優秀な入局者に恵まれています。退官前になってようやく理想の医局の姿になってきたことに、望外の喜びを感じております。臨床面では、多くの専門医や指導医を育成して臨床体制を整備できたと思っております。耳科手術指導医、鼻科手術指導医、気管食道科専門医、頭頸部癌専門医などの指導医や専門医により、全国的にみても決して遜色のない先進的な医療体制と専攻医の教育体制ができたことに満足しております。診療科名を耳鼻咽喉科・頭頸部外科に変更させていただきます。将来の発展の基礎ができたことに感謝しております。

最後になりましたが、山口大学医学部、附属病院の益々の発展を祈念しております。

## 退任挨拶

### 退任のご挨拶

山口大学大学院医学系研究科  
医療情報判断学講座



教授

石田 博

また、そのご縁で本学に移籍することにもなりました。着任後は、主に附属病院

の病院情報システムの企画、管理・運用業務を担当

致しました。4回のシステム更新の中で、2009年

には院内のカルテ・看護記録、画像や手書き書類など

全ての電子化により、包括的な電子カルテを実現して

おります。システム更新の都度、病院執行部の先生方

をはじめ、職員の皆さんからご支援とご協力をいただ

けたことが大きな推進力となつて現在の先進的な病院

情報システムを構築でき、感謝しております。もとよ

り当院の病院情報システムも他の大学病院と同様のパ

ッケージを基盤としたものですが、医療安全や診療支

援の面から少しでも診療現場を支援できるように、ベ

ンダーの協力も得て新たな関連システムの開発なども

進めながら機能向上を図つてきました。特に注力した

書式記載ツールや臨床意思決定支援システム、症例登録支援システムなど他施設に先駆けて導入してきた機能は、同一ベンダーの電子カルテシステムを導入して

いる施設でも活用しうるものであり、その中で僅かでも貢献ができたと思えば大変幸いなことと考えております。

一方、患者さんの診療情報を近隣の医療機関と共有する地域医療情報連携システムが、色々な制限や国の

施策の方向性の転換等もあつて中断し、地域医療連携

への情報面からの貢献がで

きなかったことは残念に思

つているところです。今後

も診療に不可欠な病院情報システムの機能向上

や安定した稼働管理に務め、日常診療や地域との診療連

携、臨床教育や研究への診療データの二次利用などに、

少しでもお役にたてる医療情報部であるよう引き続き

のご指導ご鞭撻を賜わりま

すようお願い致します。最後

になりましたが、山口大学医学部および附属病

院、ならびに、霜仁会会員の皆様の益々のご発展とご

健勝をお祈り申し上げます。

## 退任挨拶

### 退任のご挨拶

山口大学大学院医学系研究科  
保健学専攻 地域・老年看護学講座



教授

野垣 宏

このたび、令和6年3月末日をもって山口大学を定

年退職することとなりました。まさか定年まで在籍す

るとは当初は夢にも思つておりませんでした。あらた

めて山口大学医学部ならびに霜仁会の皆様のご指導に

感謝申し上げます。私は昭和58年神戸大学医学部の卒

業ですが、下関市出身といふこともあり、卒業そのほ

とんどを山口大学医学部で過ごすこととなりました。

そのため、母校の同窓会(神緑会)の会員名簿では

長らく行方知れずとなつていたようです。他大学出身

者ということもありしばらくは霜仁会とはご縁がなか

ったのですが、平成元年に執行部、新任教授のご挨拶

文、教室紹介、関連病院紹介、支部日より、クラス会

採用していただいた際、他

報告、研修医の近況報告、医学科学生の様々な活動報告など内容が盛りだくさん

で、いつ読んでも飽きることがありません。さて、私は平成16年2月

から保健学科の教授、定年までの最後の6年間を保健学科長として保健学科の学

部・大学院の教育や組織運営にあたってきました。同

時に山口大学評議員、副医学部長として大学や医学部

全体の運営にも関わりまし

た。能力も実績も乏しい私

にとつては、大変荷の重い職務でしたが、この得難い

経験を活かして今後の人生に活かしていきたいと考えており

ます。退職後は保健学科在籍時の学生教育や組織運営か

らは離れて、これまで細々と積み上げてきた脳神経内

科学、老年病学、リハビリテーション学、内科一般の

知識や経験をもとに、再び山口県の地域医療に少

しでも貢献できればと計画しているところ

です。霜仁会の皆様にはこれまで以上のご指導をお願い申し上げます

とともに、霜仁会ますますのご発展を祈念いたしま

す。

採用していただいた際、他



退任挨拶

退任のご挨拶

山口大学教育・学生支援機構  
保健管理センター

教授

奥屋

茂



教授には大変お世話になりました。

この度、令和6年3月末  
日で山口大学を定年退職致  
します。昭和58年、山口大  
学医学部卒業と同時に第三  
内科に大学院生として入局  
致しました。同期は11名  
で、その中の一人が現山口  
大学長の谷澤先生です。大  
学院2年目から産業医科大  
学で武者修行をする機会を  
いただき、その結果をまと  
めて昭和62年に学位を取  
得しました。関連病院での2  
年間の研鑽後、附属病院病  
棟に1年間勤務し、その後  
2年半の米国留学（米国国  
立衛生研究所）、平成4年  
10月以降は、ずっと山口大  
学で勤務してまいりました。  
その間、第三内科の兼子教  
授、岡教授、谷澤教授、そ  
して太田現教授と、4代の

業務等々繁忙な業務を、ス  
タッフと共に、3年間なん  
とか乗り切ることができま  
した。関連病院勤務と留学  
期間の計4年半を除く約37  
年もの長きにわたりお世話  
になった山口大学に、後半  
の約10年間は保健管理セン  
ター所長として多少なりと  
も恩返しできたかなと自  
負しております。

一方、平成16年霜仁会理  
事に就任し、広報委員会に  
配属されて以降、霜仁会報  
の編集を主な業務として行  
っています。ここ10年は広  
報委員長を拝命し、多くの  
先生方に原稿依頼をさせて  
いただき、快くご寄稿いた  
だけたことを本当に感謝し  
ております。また、霜仁会  
名簿改訂委員会委員長を仰  
せつかった2回は表紙の色  
は私のセンスで決定させて  
いただきました。

退任後は山陽小野田市立  
山口東京理科大学で勤務の  
予定です。最後になりました  
が、在職中は公私にわた  
り温かいご支援ご厚情を賜  
り、誠にありがとうございます  
ました。山口大学、山口大  
学医学部、霜仁会会員の皆  
様の益々のご発展とご健勝  
をお祈り致しますとともに  
今後とも変わらぬご厚誼を賜  
りますようお願い申し上げます。

主任教授の福田恵一先生の  
013年に准教授に就任、  
長・診療副部長を経て、2  
プを統括、講師、病棟医  
ながら、自身の研究グルー  
帰国後、大学病院で臨床し  
学ばせていただきました。

ける膠原病専門医の育成を  
めざして、3つの専門領域  
の医師たちがお互いをリス  
ベクトルしながら分野・  
臓器横断的に診療と教育、  
研究を進めております。  
当講座は、急性心筋梗塞

就任挨拶

就任のご挨拶

山口大学大学院医学系研究科  
器官病態内科学講座（第二内科）

教授

佐野

元昭



もとで医局運営に携わりま  
した。

2023年12月1日付で  
山口大学大学院医学系研究  
科器官病態内科学講座（第  
二内科）教授を拝命しまし  
た佐野元昭と申します。霜  
仁会の諸先生方に謹んでご  
挨拶申し上げます。私は、  
1992年に慶應義塾大学  
医学部卒業後4年間内科全  
科をローテーションしてか  
ら循環器内科に入局しまし  
た。大学病院で循環器専門  
医のトレーニングを終えた  
後、米国ベラー医科大学  
に留学、分子循環器病学を  
学ばせていただきました。

ける膠原病専門医の育成を  
めざして、3つの専門領域  
の医師たちがお互いをリス  
ベクトルしながら分野・  
臓器横断的に診療と教育、  
研究を進めております。  
当講座は、急性心筋梗塞

見据えて、若い医師の確保  
と育成、県全体の診療体制  
の再構築に本腰を入れて取  
り組む必要があると強い危  
機感を感じております。新  
しい挑戦も、環境を変え  
るのも、皆様方のご理解と  
協力が必要です。霜仁会の  
諸先生方におかれまして  
は、ご支援のほど何卒よろ  
しくお願い申し上げます。

### 就任挨拶

## 社会に求められる大学を目指して

西南女学院大学 学長

浅野嘉延



昭和58年卒業の浅野です。山口大学では楽しく充実した6年間を過ごすことができて感謝しています。卒業後は九州大学第一内科に所属し、血液内科医として臨床、研究、教育に携わってきました。医学生や研修医を指導していた頃より「人生の後半は学校の先生になって若い人の教育に携わりたい」という願いがあり、平成19年に生まれ故郷の北九州市にある西南女学院大学保健福祉学部にて教授として赴任しました。

西南女学院大学の母体となる西南女学院は大正11年の創立以来、100年にわたってキリスト教に基づいた女子教育を行っています。福岡市の西南学院とは姉妹校の関係になります。現在は大学、短大、高校、中学、幼稚園を擁する総合学園で

す。令和4年度からはウクライナからの避難学生2名を科目等履修生として受け入れ、令和5年度は他大学から入学を拒否された難治性疾患と闘う学生を新入生として迎え、全学をあげてサポートをしています。商船三井テクノトレードと連携協定を結んで、水素とバイオ燃料で動く世界初の観光船のイベント開発なども行っています。

18歳人口が減少するなか、地方の女子大学が生き残るのは至難の業です。しかし、ピンチをチャンスに変えるために、様々な大学改革に取り組んでいます。隣人への愛と未来への希望を持って、力強く前進したいと考えています。最後になりましたが、山口大学と霜仁会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

令和3年に学長に就任し、コロナ対応に追われながらも、社会に求められる大学であり続けるための様々な試みを行っていま

### 学内報告

## 白衣着衣式謝辞・宣誓

医学科 四年総代

吉村美賀子

本日はご多忙の中、私達医学科四年生のために、多くの先生方、並びに職員の方々、また保護者の皆様にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

白衣に袖を通すことで、改めて、医学を志す者としての自覚をもつと共に、命に関わる現場に立つ責任の重みを感じております。医療人としての新たな一歩を踏み出す私達の決意を表し、ここに誓いの言葉を述べさせていただきます。

一つ、医療倫理を遵守し、白衣に袖を通すことで、改めて、医学を志す者としての自覚をもつと共に、命に関わる現場に立つ責任の重みを感じております。医療人としての新たな一歩を踏み出す私達の決意を表し、ここに誓いの言葉を述べさせていただきます。

一つ、医療倫理を遵守し、



(写真はP8にも掲載)

## 《事務局からのお願い》

事務局からの郵便物が、転居先不明で多数戻ってきます。住所・所属等に変更がありましたら、ファックスまたは、Eメールでお知らせください。

霜仁会事務局

FAX: (0836) 31-7586 E-Mail: jimu@soujinkai.jp



令和5年度 白衣着衣式（山口大学医学部 医学科 4年生） 2024年1月9日

## ご寄付の御礼 — 四七会の先生方 —

霜仁会の先生方には平素よりご支援、ご指導を賜っており、心より感謝申し上げます。

さて、四七会（S47年卒）の先生方から、卒後50周年目を記念して、医学部医学科へ多大なるご寄付を頂きました。この度の格別のご支援に厚く御礼申し上げます。

この度のご寄付にあたり、「今後の医学の発展と山口大学医学部で学ぶ後進のために、学び舎に恩返しを」と大変ありがたく温かいお言葉を、四七会の先生方から頂戴しました。

賜りました寄附金につきましては、その趣旨を十分に活かし、医学教育の充実と更なる発展の為に活用させていただきたいと存じます。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年3月吉日 山口大学医学部長 篠田 晃

### ▼この度のお志により整備した医学生教育のための備品



(実習用顕微鏡)



(デジタル粉じん計)



# 教室紹介

## 分子細胞生理学講座 (生理学第一)

私たちが在籍する生理学第一講座は、1944-1946年・初代教授・斎藤幸一郎博士、1946-1958年・2代目教授・井上章博士、1960-1976年・3代目教授・丹生治夫博士、1977-1996年・4代目教授・長琢朗博士、1996-2021年・5代目教授・小林誠博士が研究・教育の伝統を築いてこられました。コロナ禍の2021年9月に、

広島大学 原爆放射線医学研究所 放射線ゲノム疾患研究分野 (松浦伸也教授・山口大学医学部小児科出身)の准教授であった遺伝医学・細胞生理学を専門とする宮本達雄博士が、6代目教授として着任しました。2023年1月に理学研究所から板橋岳志博士(生物物理学)が助教として着任し、同年5月に講師へ昇任しました。2023年9月に京都大学iPS細胞研究所から弘澤萌博士(合成生物学)が助教として着

任しました。2024年4月には助教(実験動物学)が着任予定で、分子から個体までの遺伝医学・生理学の教育・研究を推進する教員体制が整ってきました。2021-2023年度には医学科3年自己開発コースの学生計9名を指導しました。2023年度は、本学眼科学講座所属の博士課程学生1名、文部科学省国費留学生(バンングラディッシュ農業大学獣医学部)1名、本学保健学科検査学専攻卒業研究生1名、医学科短期プログラムとして山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部2名の学生を受け入れました。なお、2023年5月に、2001年の着任以来当講座の研究・教育を牽引してきた岸博子准教授が、島根大学医学部環境生理学講座教授へ栄転され、平滑筋の生理学研究の伝統を継承されています。

現講座の研究は、希少性遺伝病の病態解明研究から未踏の生理機能の発見や画期的な診断法・治療法の開発に向けた新たな生理学研究への展開が図られています。具体的には、ほぼ全てのヒト細胞の表面に発達した、細胞外の液性および力学的情報を感知する「一次繊毛」と呼ばれる小さな突起構造に着目して、一次繊毛(微小管性の突起)はよく「微繊毛(アクチン性の突起)」と間違えられますが、精子の鞭毛の中間の「毛」です。一次繊毛を覆う細胞膜(繊毛膜)には市販薬の標的分子の約30%とも言われるGタンパク質共役型受容体や様々なイオンチャネルが集積しており、創薬標的として魅力的な構造です。一次繊毛に関わる遺伝子変異は、多発性嚢胞腎、網膜変性、左右逆位など特徴的な奇形症候群を引き起こします。繊毛病は、約200種類存在すると推定されていますが、未だに60%の疾患で発症メカニズムが分かかっていません。当講座では、酸化オルガネラの一つであるペルオキシソームの形成遺伝子が先天欠損して脱髄性神経障害や肝腫大を引き起こすZellweger症候群患者に多発性嚢胞腎が好発することに着目して、ペルオキシソームが一次繊毛にコレステロールを輸送して繊毛機能を発揮することを発見しました。最近、遺伝性慢性腎不全のうち最も患者数の多い常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)の原因遺伝子産物であるPolycystin-2が、直接的にコレステロールに結合することが、一次繊毛への局在およびイオンチャネル活性に必須であることを見出ししました(論文投稿中)。さらに、一次繊毛へのコレステロール輸送を亢進する化合物がADPKDの予防・治療に有用であることの知見を蓄積しています(特許出願中)。

創の場形成支援プログラム「NEXT-COI「バイオDX産学共創拠点」(代表機関広島大学)にも参画して、ゲノム編集治療の産学連携を推進しています。また、宮本博士は2023年10月に設置された山口大学細胞デザイン医科学研究所・先進ゲノム編集治療研究部門長を拝命して、医学部だけでなく共同獣医学部とも連携して、ヒト・伴侶動物の遺伝病克服の難題に教室を上げて取り組んでいます。このように、当講座は、「遺伝学×形態学」のイノベーションとして「生理学」の理解と臨床への接続を目指して日々励み、社会から高い評価を得る山口大学医学部のさらなる発展を期してスタッフ一丸となつて取り組んでまいりたいと思っております。最後になりますが、霜仁会の諸先生方には、今後とも、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。(板橋岳志・宮本達雄)



# 病院紹介

## 山口県済生会下関総合病院



院長  
もり森

けんじ 健治 先生



の増設も行い、TAVI（経カテーテル大動脈弁置換術）を治療導入しました。診療データですが、令和4年度は1日あたり入院344人、外来787人、平均在院日数10・8日でした。コロナ禍においては小児、周産期患者を中心に受け入れ、普段以上に一般救急患者も市内で中心となって受け入れてきました。令和5

年のコロナ5類に移行後もさらに地域で中心的な役割を果たすべく、高度な医療を提供できる体制をさらに強化してまいります。令和6年度はロボット支援下手術の導入に向けた体制を整えました。高度な医療だけでなく福祉施策の一環として30年以上前から訪問診療にも力を注いでおり、地域の訪問看護ステーションとの連携を密にしながら、医療的ケア児や在宅高齢者に対して手厚い下支えになるよう地道な活動も続けています。さらに済生会全体の取り組みである無料低額診療事業やなでしこプラン（当院では美祢社会復帰促進センター医療支援事業、更生保護施設医療支援事業、備蓄食のフードバンクへの寄贈、障害福祉サービス事業所安岡苑の利用者に対するの健診事業、下関市から依頼された出前講座の講演、下関圏域生活支援協会の代表世話人としての活動等）という名の福祉活動にも中心的役割を果たしてきました。こうした役割を果たせていけることは、長年にわたり霜仁会の皆様方からのご支援を頂いているおかげであり、厚く御礼を申し上げます。

下関地域は地域医療構想の実現を図るため、現在国の重点支援区域に指定され、医療機能の集約化、機能分化・連携を目指して議論が進みつつあります。コロナパンデミックの4年間に医療需要が劇的に変化しており、予測以上に加速した人口減少の中で医療・介護系人材不足は深刻な状況で、人材争奪が起こりつつあります。下関地域においては医療機能の再編に向けて急性期医療機能の重複を避け、回復期医療の充実を図り、優れたかつ安心できる医療を市民に提供できるように検討しています。繰り返しになりますが、当院の基本理念は「心のかような質の高い医療」を提供すること、基本方針は「患者の幸せ」のため、質の高い医療の提供、よりよき医

療環境を求めて、地域と共  
に保健・医療・福祉の充実  
を目指す、職員の協働活動  
のため、よりよき環境づく  
りを目指す」と定めています。  
これらを実現するため  
に、職員一人一人とともに  
高い誇りと自信を持って、  
一日一日を大切に過ごす道  
を歩みたいと考えていま  
す。

今後も最先端の医療の提供をしながら、地域から信頼され愛される病院として医療・福祉サービスを提供し続けていく所存です。霜仁会会員の皆様におかれましてはこれからも引き続きご指導・ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

霜仁会の先生方には平素よりご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。また山口大学医学部ならびに医学部附属病院の先生方には多大なるご支援、ご指導を賜り、心より御礼を申し上げます。この度は霜仁会会報へ病院紹介をさせて頂く機会を賜り誠にありがとうございます。

（医療に恵まれない人々に医療を提供し、様々な社会的弱者に対して目を向け積極的な手を差し伸べる幅広い活動を行うこと）で、この創立精神に基づき我が国最大6万4千人を擁する医療・福祉団体であります。当院は大正13年に済生会から委嘱を受け開設された下関診療所が母体で、昭和14

年に50床の下関病院として開設され、昭和59年に現在の373床になりました。当時は市内中心部にありましたが、老朽化や狭歪化のため平成17年に現在の下関市の郊外（安岡町）に新築

（医療に恵まれない人々に医療を提供し、様々な社会的弱者に対して目を向け積極的な手を差し伸べる幅広い活動を行うこと）で、この創立精神に基づき我が国最大6万4千人を擁する医療・福祉団体であります。当院は大正13年に済生会から委嘱を受け開設された下関診療所が母体で、昭和14

年に50床の下関病院として開設され、昭和59年に現在の373床になりました。当時は市内中心部にありましたが、老朽化や狭歪化のため平成17年に現在の下関市の郊外（安岡町）に新築

（医療に恵まれない人々に医療を提供し、様々な社会的弱者に対して目を向け積極的な手を差し伸べる幅広い活動を行うこと）で、この創立精神に基づき我が国最大6万4千人を擁する医療・福祉団体であります。当院は大正13年に済生会から委嘱を受け開設された下関診療所が母体で、昭和14

当院の正式名称は社会福祉法人恩賜財団済生会支部山口県済生会下関総合病院です。済生会組織は明治44年に明治天皇が発出された済生勅語によって設立され、基本理念は施薬救療

（医療に恵まれない人々に医療を提供し、様々な社会的弱者に対して目を向け積極的な手を差し伸べる幅広い活動を行うこと）で、この創立精神に基づき我が国最大6万4千人を擁する医療・福祉団体であります。当院は大正13年に済生会から委嘱を受け開設された下関診療所が母体で、昭和14

年に50床の下関病院として開設され、昭和59年に現在の373床になりました。当時は市内中心部にありましたが、老朽化や狭歪化のため平成17年に現在の下関市の郊外（安岡町）に新築

（医療に恵まれない人々に医療を提供し、様々な社会的弱者に対して目を向け積極的な手を差し伸べる幅広い活動を行うこと）で、この創立精神に基づき我が国最大6万4千人を擁する医療・福祉団体であります。当院は大正13年に済生会から委嘱を受け開設された下関診療所が母体で、昭和14

年に50床の下関病院として開設され、昭和59年に現在の373床になりました。当時は市内中心部にありましたが、老朽化や狭歪化のため平成17年に現在の下関市の郊外（安岡町）に新築

（医療に恵まれない人々に医療を提供し、様々な社会的弱者に対して目を向け積極的な手を差し伸べる幅広い活動を行うこと）で、この創立精神に基づき我が国最大6万4千人を擁する医療・福祉団体であります。当院は大正13年に済生会から委嘱を受け開設された下関診療所が母体で、昭和14

医療関連事業  
疾病の診断から治療までを担う



ニュートラシューティカルズ関連事業  
日々の健康維持・増進をサポートする

**両輪で身体全体を考える**

世界の人々の健康に貢献する  
トータルヘルスケアカンパニーを目指します。

Otsuka-people creating new products  
for better health worldwide




Otsuka 大塚製薬

<https://www.otsuka.co.jp/>

印刷を企画から在庫管理・発送まで

**一括サポート!**

まずはお気軽にご相談ください。

 瞬報社オフリン印刷株式会社

[本社] 〒754-0002 山口県山口市小郡下郷2410番地  
TEL 083-972-5678 FAX 083-973-1912

[営業所] 広島・下関物流センター

医書のことなら全てお任せ下さい。

- 常時 10,000点の在庫。
- 便利な試覧制度と即日納品も可能なスピーディー宅配便。
- インターネットによる医学書の最新情報の提供と注文が可能。

《日本医書出版協会認定》  
《医学・看護学専門書店》

**井上書店**

宇部店 〒755-8566 宇部市南小串2丁目3番1号  
TEL (0836) 34-3424 FAX 34-3090  
e-mail : ube @ mm-inoue.co.jp

小倉店 〒802-0077 北九州市小倉北区馬借2丁目1-20  
TEL (093) 533-5005 FAX 533-9789  
e-mail : kokura @ mm-inoue.co.jp

[ホームページアドレス]  
<http://www.mm-inoue.co.jp>

ご結婚・ご宿泊・会議・会食に

**国際ホテル宇部**

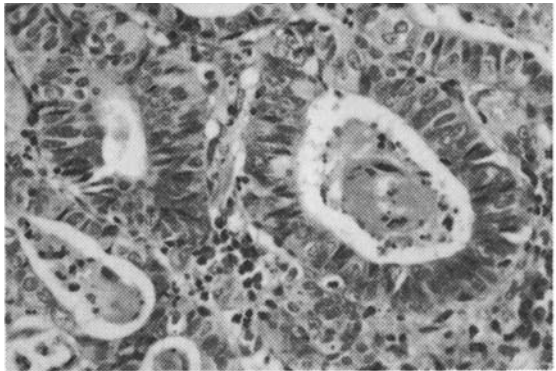
 **0120-375931**  
山口県宇部市島1丁目7-1  
<http://www.kokusaihotel-ube.co.jp>

**病理組織・細胞診検査**  
**動物実験研究用病理標本作製**

(詳細は検査案内参照)

組織、細胞診検査の  
集配業務行っております。  
ご利用の程を

- \* 地域に貢献し、共に発展
- \* 素早い対応、迅速、正確
- \* 責任がもてる標本作り
- \* 標本が教科書



**(社)霜仁会検査センター**

〒755-0046 宇部市南小串1丁目2-11 霜仁会医学交流会館2F  
TEL :0836-31-7510 FAX :0836-31-7590

# 山口大学医学部霜仁会の 会員総合補償制度

団体割引\*が適用されるため、  
保険料が**割安**です!!



\*団体割引は毎年変動する可能性があります。  
本チラシに記載の団体割引は、2024年4月1日～2025年4月1日までに  
保険始期のあるご契約に適用されます。

**中途加入受付中!** 中途加入の場合、毎月20日までにお申込みいただくと  
翌月の1日が補償の開始日となります。

**産業医等活動保険にもご加入できます!**  
(勤務医師賠償責任保険任意オプション)

地震や日常生活による**ケガ**  
**携行品 賠償責任**を補償

団体割引 **5%**

### 傷害補償

- ◆国内外、24時間、事故によるケガを補償します。  
(地震・噴火・これらによる津波によるケガも補償します。)
- ◆ケガ以外にも携行品の損壊など、様々なリスクを補償します。
- ◆年齢にかかわらず保険料は一律です。

会員総合補償制度の  
おかげで安心して  
医療に従事できます

万一の医療事故を補償

**医師賠償責任保険**  
(勤務医向け)

団体割引 **20%**

働けなくなった時の**収入**を補償

団体割引 **10%**

### 所得補償

- ◆病気やケガで就業不能となった場合に、  
先方所得を補償します。
- ◆入院はもちろん、自宅療養もカバーできます。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。

所得補償、団体長期障害所得補償  
どちらも加入することをおすすめします。

長期間働けなくなった時の  
**収入**を補償

団体割引 **10%**

万一の**がん**・**病気**・**ケガ**を補償

### がん補償

- ◆がんと診断確定されたとき、診断保険金が支払われます。
- ◆入院保険金は1日目から何日でも補償されます。
- ◆手術保険金は何回でも補償されます。(手術の内容・種類によっては回数の制限があったり、お支払の対象とならない場合があります)。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。  
(健康状態告知のみ)。

### 医療補償

- ◆病気だけでなくケガによる入院も補償されます。
- ◆入院保険金は入院1日目から補償されます。(限度日数あり)。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。

### 団体長期障害所得補償

- ◆病気やケガで就業障害となった場合に、先方所得を  
補償します。
- ◆長期にわたり(最長5年)生活費をお届けします。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。  
(健康状態告知のみ)。

突然**介護**が必要になった時に  
保険金をお支払

団体割引 **10%**

### 介護補償

- ◆公的介護保険制度に基づく要介護2以上の認定を受けた場合
- ◆東京海上日動所定の要介護状態(要介護2用)と診断され  
その状態が90日を超えて継続した場合  
いずれかの場合、保険金(一時金)をお支払します。

詳細はパンフレットをご覧ください。この広告は医師賠償責任保険、産業医等活動保険、団体生活総合保険の概要についてご紹介したものです。  
詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡しする保険約款および協定書によります。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。尚、ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

申込書類・資料のご請求やお問い合わせはお電話もしくはメールで下記取扱代理店までお願い致します。

<p><b>お問合せ先・取扱代理店</b></p> <p><b>株式会社パイオニア</b> (平日)午前9時～午後5時 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町4-4-16 小泉第2ビル 3階 TEL: 0120-010-938 FAX: 0120-921-051 http://www.pioneerltd.com yamada@pioneerltd.com</p>	<p><b>引受保険会社</b></p> <p><b>東京海上日動火災保険株式会社</b> (担当部) 医療・福祉法人部 東京都千代田区三番町6-4 〒102-8014 TEL: 03-3515-4143 www.tokiomarine-nichido.co.jp 募集文書番号: 2024年2月作成 23TC-008254</p>
--	--

いついかなる時も、いちばんそばに。

To Be a Good Company



# ニューフェイス

## 専門研修に向けて

山口大学医学部附属病院

麻酔科・蘇生科  
種本 任朗

私は山口大学を卒業後、宇部興産中央病院で初期臨床研修を行いました。私は学生時代の講義をきっかけに麻酔科領域の幅広さ、手術が滞りなく進むように陰で患者の全身管理を行う姿勢に興味を持ちました。そのため初期研修先として神経ブロックを中心に麻酔や麻酔に関わる手技の勉強ができる宇部興産中央病院を選択しました。

初期研修では麻酔科以外に総合診療科で約半年間研修しました。麻酔科医は術前診察という短い時間の中で患者との信頼関係を構築しなければなりません。総合診療科での研修で、他人の人生や生き様に興味を持ち、患者やスタッフとの何気ない会話の中で診療に必要な情報を聞き出す姿勢を育むことができました。

また、研修医2年目の時に初めて学会で発表する機会がありました。発表した症例では、看護師が患者か



向かって左の眼鏡をかけている方が種本です

私は今年度から第一外科に入局しております。初期研修中に外科手技、解剖、

## 初期研修を振り返って

山口大学大学院医学系研究科  
器官病態外科学講座(第一外科)

末田 侑香

私は山口大学を卒業後、済生会山口総合病院で初期臨床研修を行いました。私の出身は山口市で、生まれた街で社会人1年目をスタートできることがとても嬉しかったのを覚えています。済生会山口総合病院は病床数300床弱の病院で、初期臨床研修医は各代6名です。病院の雰囲気は本当にアットホームで上級医の先生方にコンタクトをとりやすい環境が整っていることや、手技の経験を積むチャンスが多いことがとても魅力だったと感じています。研修開始直後の私は臨床能力が全く無く、特に当直の際は不安に苛まれて数日前から鬱々とした気分でした。先輩研修医や各診療科の先生方に厚いご指導をいただいたおかげで少しずつ力をつけることができました。

全身管理の奥深さに魅力を感じ、また外科で働く先生方の姿に率直に『カッコイイ』と憧れを抱いて入局を決めました。外科医としての生活が始まって約1年になります。全く後悔のない、学びの多い充実した日々を送っています。まだまだ未熟ではありますが、今後少しでも多くの患者さんのお力になれるよう、研鑽を積んで参りたいと思います。

済生会山口総合病院  
<http://www.yamaguchi-saiseikai.jp/>



後列一番右が末田です

本研究では、角膜上に存在する受容体PRY2に着目しています。この受容体にジクアホソルトリウム(ドライアイ治療薬の一種)などのリガンドが結合すると涙液を分泌し、眼表面の乾燥を防ぎます。当講座の研究でPRY2のmRNA発現量は日内変動することが報告されており、薬効も日内変動しているのではない

# ジエネシス

## 自己開発コースを終えて

国内プログラムコース

医学科 四年 鎌田 啓佑



かという仮説を立てて研究を行いました。

今回の自己開発コースを通じて、様々なスキルを身につけることができました。まず実験手法に関するですが、実験動物の取り扱いや組織標本作成の手法(特にH&E染色)などを学びました。動物実験は初めてであり、最初はマウスの保定や薬剤の腹腔内投与に苦戦していましたが、何度も失敗を重ねていくうちに手際よく行えるようになりました。また、組織学実習や病理組織実習でしか観察できなかったのなかつた組織標本を、実際にH&E染色で作成した経験は自分にとって貴重なものであり、いずれ生検組織標本作製する機会が訪れた際に役立つと思います。次に論文作成・発表に関するのですが、学術論文独特の表現や考察の書き方、わかりやすい発表スライドの作成方法などを学び

ました。先生に下書きを提出し、修正するという過程を何度も繰り返したので大変でしたが、この繰り返しがあつたからこそスキルを身につけることができました。最後になりますが、お忙ししい中ご指導いただいた声森温茂先生をはじめとする眼科学講座の先生方に感謝申し上げます。約半年間と短い期間でしたが、ありがとうございました。予想通り良かったです。

## 自己開発コースを終えて

海外オリジナルコース

医学科 四年 川口 藍



州のバックアップの下、虐待児の生体鑑定に積極的に取り組んでおり、毎日各地から鑑定の依頼が集まっています。

私はこの度の自己開発コースで法医学講座にお世話になり、9月末から約2ヶ月間、ミュンヘン大学の法学研究所に留学させていただきました。

研究所はドイツのバイエルン州ミュンヘン市内の中心地に位置します。バイエルン州南部を管轄し、年間3000件以上の解剖が行われ、ドイツ国内で最大規模を誇る施設です。また、

海外の実験結果が出たときや、論文・発表スライド作成でつまづいた際に先生に相談することが多かったと思います。最後になりますが、お忙しい中ご指導いただいた声森温茂先生をはじめとする眼科学講座の先生方に感謝申し上げます。約半年間と短い期間でしたが、ありがとうございました。

までには時間がかかりましたが、積極的に英語で質問しながら、毎日自分の中で目標を定めて、一つずつできることを増やしていくよう努めました。毎日2〜4件の解剖に参加し、最終的に100件以上に参加させていただきました。死因の内訳は日本と大きく異なり、解剖を通して土地や気候、社会情勢の違いを垣間見ることができました。

生体鑑定に関しては5件同行させていただきました。生体鑑定は基本的に警察の依頼で行われますが、事件の被害者だけでなく加害者の鑑定も積極的に行われており、法医学が証拠として社会的な信用を得ていることを感じました。また難民問題やアルコール依存問題などの現地の社会問題に触れる機会も多く、法医

## 自己開発コースを終えて

海外オリジナルコース

医学科 四年 沈本 慧



価値観に触れ、自分の目指す医師像についても視野を拡げることができたと感じています。留学を始めて最初に実感したことは、事前準備の大切さです。私は器官解剖学講座で留学前約9ヶ月にわたって基本的な実験手技のトレーニングを行いました。また、関連論文の精読や先方の教授との打ち合わせ、申請に必要な書類手続きにもかなりの時間を要しました。アメリカ到着の日からプログラムが開始したため、研究をスムーズに進めるためにも事前知識はある程度必要でした。

私が配属された研究室はマークス・カルカム教授と10人もの科学者や大学院生がいました。研究内容をはじめ、実験手技、研究所での過ごし方、ロサンゼルスでの生活までとても丁寧な教えていただいたおかげで、現地の生活に慣れるまであまり時間はかかりませんでした。私はこの研究室で発見された「2炭素葉酸」という化合物の生物学的特性を解明する研究プロジェクトに携わることになりました。規模の大きいプロジェクトであり、当初は研究成果を出すまで時間が

かかると思われていたため、5カ月の期間でどれだけのことができるのか、不安や焦りを抱きつつ、自分のできることを正確かつ確実にこなすことに心血を注ぎました。実験を開始してから3ヶ月経っても、プロジェクトの仮説を支持する結果がなかなか得られず、実験に明け暮れる日々を過ごしました。しかし、培養条件を変えたことが功を成し、試薬が細胞に取り込まれる現象が確認できたことで、自己開発コースの後半に次々と新しい結果が得られ、プロジェクトに貢献することができました。この経験を通して、また多くの研究者たちを目の当たりにして、研究では思い通りにならないことが当たり前で、物事を追求するための精神力や判断力が成果につながることを教わりました。

最後になりますが、留学を支えて下さった先生方や先輩方、研究室の皆様方にご場をお借りして御礼申し上げます。今回の研究留学は、私の人生で非常に貴重な経験になりました。本当にありがとうございました。

私は自己開発コースで、アメリカのシテイ・オブ・ホープという臨床研究センターで研究留学をさせていただきました。約5カ月間の留学期間を通して多くの

# クラブ紹介

## 男子バレーボール部

医学部 四年  
都津川 修一



山口大学医学部男子バレーボール部の主将を務めさせていたでいております、医学部4年の都津川修一と申します。

医学部男子バレーボール部は、プレイヤー22名、マネージャー6名の計28名で活動しております。練習は月曜日、水曜日、金曜日の週3回で、医学部体育館で行っています。基礎的なパス練習から始まり、その後サーブ練習・スパイク練習を行います。最後に全体練習を行うことで、チームの連携や改善点を確認していきます。

山口大学医学部男子バレーボール部には、年間を通して様々な行事があります。医学生のみでの大会では、4月には九州・山口医科学生体育大会、5月末には中国・

四国医科学生体育大会、8月上旬には西日本医科学生総合体育大会に参加しています。また、7月・12月に行われる山口県リーグの大会にも出場し、県内の専門学校生や他大学の人も交流を深めています。

今年度行われた九州・山口医科学生体育大会では3位入賞、西日本医科学生総合体育大会では準優勝という結果を修めることができました。この成果を修めることができたのは、昨年度より全体練習の形式を大きく変えたからだと考えています。以前は主力選手のみがコートに入って練習していましたが、現在は初心者も含めた全員が全体練習に参加しています。そうするこ



# 満面の笑顔が似合う科学者

なかやまとしのり  
中山俊憲先生

九州大学大学院医学研究院長発達医学

大賀 正一

2024年1月の日本免疫学会学術集会の主催を前に、天に召された千葉大 学学長、中山俊憲先生へ、謹んで追悼の言葉を捧げます。

2022年夏、阿蘇シンポジウムに先生をお呼びして臨床に直結する素晴らしい免疫病態の研究のお話を伺いしたあと、楽しくお食事したのが最後になりました。はじめて、先生と出会ったのは40年以上前の18歳の時でした。岡山出身の先生と福岡出身の僕は、偶然か必然か、医学生として勉強することになりました。

抄読会、専門に上がってからはNew England Journal of MedicineとSherlock肝臓病学の勉強会で、こだわりぬきました。卒後、僕は西の故郷に戻りましたが、先生は故郷より東を目指しま

# ご逝去を悼む

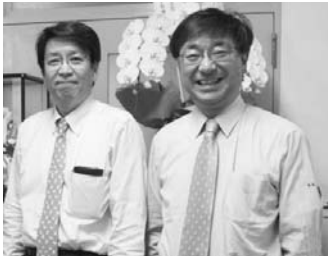
中山先生とは、基礎と臨床から「自己とは何か？」を問い続け、免疫学を共通言語にぎくばらんにお話する機会が幾度もありました。私が九大小児科を担当するようになってからは先生も育てて下さいました。

奥様も後輩で私と同じ小児科医ですが、結婚式に出席が叶わず病棟からお二人の幸せを祈ったことを思い出します。2018年第50回日本小児感染症学会学術集会を開催した時、先生の特

多くの素晴らしい科学者を育てられた中山先生は私の尊敬する同級生です。ど



1984年 宇部にて



2014年3月 山口大学大学院医学系研究科  
小児科学講座医局にて



2022年7月22日 阿蘇シンポジウム

んな状況も全力で乗り切る笑顔の先生はこれまでもこれからも心の支えです。巨人の肩をまた高くされたその功績は次世代にきつとひきつがれます。無限と連続の生命の流れのなかで、それぞれの自己の命を天から見守ってくれているでしょう。先生、お疲れ様でした。未来を担うことも私たちを育むことに、もう少し私も全力疾走を続けてまいります。待っていてください。また、お会いしましょう。

合掌！

# 会員だより

## 厚生労働省インターン報告

医学科 六年 木村綾佑



作成など貴重な機会にも恵まれました。

私は秋に厚生労働省障害保健福祉部精神・障害保健課でインターンを行いました。インターンではメンタルヘルスデーの企画会議をはじめとした精神科領域に関する様々な打ち合わせや、精神福祉行政に関わる業務を体験させて頂いた他、事務次官や厚生労働大臣への政策の報告や説明を行うレクチャーでの議事録



西嶋先生（左）と木村（右）

インターン中には山口大学のOBの技官の先生にお会いする機会もありました。精神・障害保健課では田中増郎先生（平成13年卒）が依存症対策専門官として各種の依存症問題に取り組んでおられ、今年4月に発足

した子ども家庭庁で行われたレクチャーでは先生と共同席させて頂きました。レクチャーでは精神科医としての臨床での経験から、専門的な助言と政策の提案をされていたことに技官としての専門性が行政に活かされていると深く感じました。また、西嶋康浩先生（平成14年卒）は大変お忙しい中にも関わらず部署まで来て下さいました。西嶋先生は参議院でのインターンの際に当時の自見はなこ内閣府政務官（現…地方創生担当大臣）からご紹介頂き、同じ山口大学出身の医系技官の先生がいらつしやることに驚いたことを印象深く覚えております。その際にインターンへのお誘いを頂き、今回の貴重な機会へのご縁を頂きました。西

嶋先生は現在、健康局がんだ。まず副支部長の三浦先生（S59）の挨拶から始まり、「前回2019年、名古屋での第10回霜仁会懇親総会を兼ねての中京支部総会以来の開催で何人集まるか危惧していましたが、コロナ禍前とほぼ同数の参加があり安堵しました」、「来賓の福田先生、矢賀先生、篠田先生への謝辞」などの二ノ宮先生からのメッセージが読み上げられました。続いて福田会長、篠田医学部長からご挨拶がありました。篠田先生は「私は岐阜県出身で高校まで岐阜市で過ごしました。初めての出席ですが見慣れた教員の子が何人かおり安心しました」とのことでした。

引き続き山田先生（S56）の乾杯の音頭で懇親会が開催されました。和気あいあいと各テーブルで話が進むなか、福田会長から「母校山大医学部のキャンパスの写真、全日空ホテルが来年3月で廃業予定」などのお話を聞きました。続いて篠田先生から山大医学部の近況について、「研究力を上げるため工夫しています、世界中の大学を回り学生の受け入れを依頼したところ、ハーバード大学に15人くらい留学した学年が

# 支部だより

## 中京支部会

八〇〇字程度の原稿を写真添付の上ご投稿下さい。

コロナ禍で中止してしました霜仁会中京支部総会を令和5年10月28日（土）に名古屋 Marriott アソシアホテルにおいて4年ぶりに開催しました。

当日は支部長の二ノ宮先生（S54）がインフルエンザ罹患のため急遽欠席となるハプニングがありました。が、霜仁会本部より福田進太郎会長、矢賀健理事、篠田晃医学部長をお迎えして19名の出席で開催しまし

た。まず副支部長の三浦先生（S59）の挨拶から始まり、「前回2019年、名古屋での第10回霜仁会懇親総会を兼ねての中京支部総会以来の開催で何人集まるか危惧していましたが、コロナ禍前とほぼ同数の参加があり安堵しました」、「来賓の福田先生、矢賀先生、篠田先生への謝辞」などの二ノ宮先生からのメッセージが読み上げられました。続いて福田会長、篠田医学部長からご挨拶がありました。篠田先生は「私は岐阜県出身で高校まで岐阜市で過ごしました。初めての出席ですが見慣れた教員の子が何人かおり安心しました」とのことでした。



あります」「解剖実習室のホルマリン濃度が高かったが、新しく考案した局所排気装置を設置してホルマリン濃度が0・02ppm↓と全国1位になり山大システムとして全国に広がっています」「献体を使った外科医研修を始めたところ、外科医の志望が増えた」

「さまざま30代、40代の先生方に寄り添う場所としてミッドライフアカデミアセンターを立ち上げました」など、特に若い医師の育成に力を入れておられるお話を伺い感銘しました。

続いて会員ひとりひとりから近況報告がなされました。各年代の赤裸々な体験談・近況が話され、特に若い会員の業績・キャリアクターに大いに盛り上がりました。

最高の笑顔で集合写真を撮る

# クラス会報告

楽しいクラス会の様子を八〇〇字程度にまとめて写真を添えてお送りください。

## 四九会

卒後50年のクラス会に想う

49年卒 倉田 悟

卒後50年のクラス会を2023年11月18日、宇部全日空ホテル、雲海で開催し

撮り、最後に副支部長の三浦先生の挨拶で閉会となりました。

ホテラウラウンジでの2次会にはほとんどの先生が出席され、地上210mからの名古屋の夜景を楽しみながら、話がつきないひと時を過ごしました。

出席者は、滝茂美（S56）、山田克典（S56）、井田勝也（S58）、植村和正（S58）、長澤正通（S58）、中原鍊三（S58）、三浦久幸（S59）、束村恭輔（S63）、長岡仁（H1）、金子唯（H10）、棟近孝之（H16）、伊藤秀明（H21）、末継哲行（H17）、雪上友里（H26）、辻悠介（H29）、名倉悠真（H29）

(写真P18に掲載)

た。

案内状を出す時に、先ず感じたことは、個人情報保護法の影響だろうか、住所を追跡できないことだ。特に、岡山大学、熊本大学など山口から他県に帰った友

の追跡だ。大学医局を去ると分らない。県医師会名と本人の名前でインターネット検索すると住所が判明することがあった。連絡が取れた友から同級生の住所を聞き出せる事もあった。

初め、クラスの人気は80名であったが、10名が既にこの世を去り、今は70名である。60名に案内状を出すことが出来た。48名から返信があった。参加者は13名

(写真1)であった。不参加は病気や仕事が主な理由であった。病気は75歳前後であるため癌、特に前立腺癌である。良性疾患では脊柱管狭窄症である。仕事は、クラス会当日に講演を依頼されている、現役で仕事をしているのでクラス会

(写真P18に掲載)

楽しいクラス会の様子を八〇〇字程度にまとめて写真を添えてお送りください。

案内状を出す時に、先ず感じたことは、個人情報保護法の影響だろうか、住所を追跡できないことだ。特に、岡山大学、熊本大学など山口から他県に帰った友

亡くなった佐藤、熊谷、四宮、清水、柚木、田中、吉野、中辻、中島、森君に哀悼の意を表すために、黙祷を行なった。お酒を飲む前に、前座として私がハーモニカで「みかんの花咲く丘」、「学園広場」を吹き、本番はギター・マンドリン

クラブであった服部君のギター演奏「ビートルズの名曲」や「日本の歌」を聴くことが出来た。すばらしい音色であり、次回はマンドリン演奏をお願いしよう。

さて、乾杯の音頭は遠く沖繩から駆けつけてくれた安慶名君にお願いした。宴もたけなわとなったところで、大学6年間の歩みをスライドで振り返ってみた。山口市で過ごした進学1、2年生時、学園闘争・無期限スト、大学祭(ゲゲゲの鬼太郎)を思い出す。専門1年生以降は宇部市

で過ごした。

解剖実習(写真2)で鍛えられた。芸能コンクールは専3時・木枯し紋次郎(写真3)、専4時・座頭市(写真4)、「嫌な渡世だな」と締め括ったことなどを思い出す。クラスは良くまとまっていた。10代から6年間共に過ごした友は

かけがえの無い宝物だ。宴

も終わりが近づいた頃、友の1人が急に意識喪失となり倒れた。足を椅子の上に置き、脈を診ると微弱で心臓細動となっていた。直ぐ救急車を要請した。次第に意識が戻り会話が出来るようになったが、念の為、救急病院に入院するように話を進めたが、結局本人の強い希望があり、ホテルで休むことになった。翌日、宇部カントリークラブ、江畑池コースでゴルフを楽しんだ。昨日、意識喪失した友も元気に参加した。ティー

ショットはバックティー、否シニアティーと意見が分かれたが、結局レギュラーティーを使うこととした。私はほぼボギーペースであった。60歳代までは特に感じなかったが、70歳頃からドライバーの飛行距離が落ちてきた。飛ばなくなったので池越え、谷越えが難しく感じた。75歳になるとゴルフが下手になった。

久しぶりに旧友と会い、50年前の若かりし日々を思い出し、楽しい時間を過ごすことができた。同級生は良いものだ。今回は車椅子やワイフ同伴でないと参加出来ない友も出てくるだろう。数年後、また、クラス会を開き

たいと想う。命短し、我が友よ、また語り明かそう。

(写真はP18に掲載)

## H 16 会

2024年2月24日にH29クラウンプラザホテル宇部にて『平成16年度山口大学医学部医学科卒業生同窓会』を開催いたしました。平成16年度の卒業生は、卒後臨床研修医制度開始の年であり、日本全国に同級生が散開してしましました。このたび卒後20年目の節目の年に、総勢36人に参加いただき盛況な会となりました。20年という歳月は個々人にとっても様々なイベントがありました。まず初めに早世した長尾健太くと宮近義浩くんを偲び皆で黙祷をささげました。二人の同窓生のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。今回の同窓会は卒後初の大規模な同窓会であり、奇しくも国立大学の2次試験前日の開催となりました。遠いところを集まってくれた皆さんに感謝申し上げます。20年ぶりの再会の人も多くいましたが、控えめにしても全く変わらない面々との再会でした。一気



H 16 会

に学生時代に舞い戻ったかのように昔話に花を咲かせつつ、近況について報告しました。それぞれが中堅どころとなり、また開業した同級生も多くいました。中でも大阪大学 感染制御学の教授に就任された忽那賢志くん、産業医科大学 生体産業研究所 職業性腫瘍学の教授に就任された藤澤浩一さんは我々同期の誇りです。約26年前に山口大学医学部に入学し、宇部の地で6年間という同じ時間を



中京支部会

過ごした旧友と、20年の年を経て同じ宇部の地で同じ時間を過ごすことができました。何年か後、また皆で集まれることを楽しみにしています。今回残念ながら都合が合わなかった同級生にも次の機会に会えることを祈念しております。今回の開催にあたり、ご協力いただきました霜仁会の皆様に感謝申し上げます。 幹事：佐伯一成、田村功、西嶋由衣、田中敦子



四 九 会

写真1. 卒後50年 49年卒クラス会 宇部全日空ホテル、雲海にて



写真3. 専門3年、森君の脚本による「木枯らし紋次郎」 「あっしは面倒なことに、関わりを持ちたくねえんでございます」という言葉を思い出す。



写真2. 専門1年、解剖実習が終わり、沖 充講師と共に。 沖先生はその後、島根医科大学教授になられた。



写真4. 専門4年、芸能コンクールで優勝 座頭市「嫌な渡世だなぁ…」クラス全員、協力的で仲良くまとまっていた。



解剖実習に使った器具▶

- 富永 博先生 (昭55年卒) 令和3年1月25日逝去
  - 田村勝博先生 (昭40年卒) 令和4年9月11日逝去
  - 河野隆任先生 (昭41年卒) 令和5年10月16日逝去
  - 重田幸二郎先生 (昭41年卒) 令和5年11月13日逝去
  - 館林欣一郎先生 (昭26年卒) 令和5年11月16日逝去
  - 坂 康雄先生 (昭60年卒) 令和5年12月6日逝去
  - 城崎彦一郎先生 (昭41年卒) 令和5年12月29日逝去
  - 後藤 博先生 (昭55年卒) 令和6年1月16日逝去
  - 荻野舜亮先生 (昭28年卒) 令和6年1月22日逝去
- ご冥福をお祈りいたします。

討 報

(永井智彦)

令和6年の診療報酬改定では初・再診料の引き上げを代表に全体でアップとしながらも、特定疾患療養管理料や短期滞在手術等基本料の改定など引き下げを認めました。また今後は働き方改革の影響で実質減給となるケースも予想されます。物価高に対しては診療報酬改定に頼ることなく個人で対策する時代が来ていると感じます。

編集後記